

## 消化器内科 肝臓内科

三田 英治

消化器科は、① 肝炎・肝癌診療、② 内視鏡治療、③ 消化器癌に対する化学療法を診療の3つの柱にしています。論文や学会発表も、この3つの柱を中心に活動しています。

まずC型肝炎およびB型肝炎に対する抗ウイルス療法ですが、その診療患者数が日本でも常にトップクラスにランクされ、国内のみならず海外の学会・学術誌に情報発信してまいりました。本年度もC型肝炎に対するペグインターフェロン・リバビリン併用療法の有効性、そして難治例に対する治療の工夫を報告しました。特にIL-28BのSNPによる難治要因についてレトロスペクティブな検討を行い、リスクアレルを有する症例は次世代のプロテアーゼ阻害剤を待つことが望ましいことを発信しました。当科のB型肝炎に対する抗ウイルス剤（特に核酸アナログ）治療も国内で高い評価を受けている領域です。核酸アナログ naïve 例に対するエンテカビル単独治療およびラミブジン耐性例に対するアデホビル併用療法では、国立病院機構の治療成績をとりまとめています。

内視鏡治療では、早期胃癌に対する粘膜下層剥離術（ESD）に力を入れ、診療レベルの向上をはかってきました。そして適応拡大病変の検討や安全性の評価を発表しています。特に抗凝固剤、抗血小板薬が投与されている症例の検討を国内外に発信しています。

消化器癌に対する化学療法はいまや最も活発に論文発表や学会発表を行っている領域です。特に胆道系悪性腫瘍、膵臓癌は増加傾向にあり、今後も先進医療を行っていきます。

上記のほかにも、臨床的に稀な症例や貴重な経験症例の報告をしています。特に症例報告は専修医・研修医の初めての学会発表の場として、消化器科をあげて指導に力を入れています。今後も、診療・教育とともに臨床研究の成果を国内外に発信していきたいと思っております。

### 【2011年度研究発表業績】

A-0

Oze T, Hiramatsu N, Song C, Yakushijin T, Iio S, Doi Y, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Hayashi E, Kato M, Miyazaki M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Hayashi N, Takehara T.

Reducing Peg-IFN doses causes later virologic response or no response in HCV genotype 1 patients treated with Peg-IFN alfa-2b plus ribavirin.

J Gastroenterol. 2012;47(3):334-42. (2012年3月)

Kanto T, Inoue M, Oze T, Miyazaki M, Sakakibara M, Kakita N, Matsubara T, Higashitani K, Hagiwara H, Iio S, Katayama K, Mita E, Kasahara A, Hiramatsu N, Takehara T, Hayashi N.

Dynamics of regulatory T cells and plasmacytoid dendritic cells as immune markers for virological response in pegylated interferon- $\alpha$  and ribavirin therapy for chronic hepatitis C patients.

J Gastroenterol. 2012;47(2):169-78. (2012年2月)

Kurokawa M, Hiramatsu N, Oze T, Yakushijin T, Miyazaki M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Iio S, Doi Y, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Mochizuki K,

Hagiwara H, Mita E, Ito T, Inui Y, Katayama K, Yoshihara H, Imai Y, Hayashi E, Hayashi N, Takehara T. Long-term effect of lamivudine treatment on the incidence of hepatocellular carcinoma in patients with hepatitis B virus infection.

J Gastroenterol. 2012 Jan 11. [Epub ahead of print] (2012 年 1 月)

Nakazuru S, Yoshio T, Ogawa Y, Yuguchi K, Hasegawa H, Sakakibara Y, Kodama Y, Uehira T, Mita E. Human immunodeficiency virus (HIV)-associated duodenal lymphoma.

Endoscopy. 2011 Dec;43 Suppl 2 UCTN:E384-5. Epub 2012 Jan 24. (2011 年 12 月)

Hiramatsu N, Inoue Y, Oze T, Kurashige N, Yakushijin T, Mochizuki K, Miyagi T, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Oshita M, Mita E, Hagiwara H, Inui Y, Katayama K, Tamura S, Yoshihara H, Imai Y, Hayashi N.

Efficacy of pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for hepatitis C patients with normal ALT levels: a matched case-control study.

J Gastroenterol. 2011;46(11):1335-43. (2011 年 11 月)

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Imanaka K, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Nagase T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Hayashi E, Imai Y, Kato M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N.

Efficacy of re-treatment with pegylated interferon plus ribavirin combination therapy for patients with chronic hepatitis C in Japan.

J Gastroenterol. 2011;46(8):1031-7. (2011 年 8 月)

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Imanaka K, Yamada A, Oshita M, Kaneko A, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Nagase T, Inui Y, Hijioka T, Tamura S, Yoshihara H, Hayashi E, Imai Y, Kato M, Hosui A, Miyagi T, Yoshida Y, Ishida H, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, Hayashi N.

The efficacy of extended treatment with pegylated interferon plus ribavirin in patients with HCV genotype 1 and slow virologic response in Japan.

J Gastroenterol. 2011 Jul;46(7):944-52. (2011 年 7 月)

Oze T, Hiramatsu N, Yakushijin T, Mochizuki K, Oshita M, Hagiwara H, Mita E, Ito T, Fukui H, Inui Y, Hijioka T, Inada M, Kaytayama K, Tamura S, Yoshihara H, Inoue A, Imai Y, Kato M, Miyagi T, Yoshida Y, Tatsumi T, Kiso S, Kanto T, Kasahara A, Takehara T, and Hayashi N.

Indications and limitations for aged patients with chronic hepatitis C in pegylated interferon alfa-2b plus ribavirin combination therapy.

J Hepatol. 2011;54(4):604-11. (2011 年 4 月)

Sueyoshi Y, Yoshio T, Ito M, Suemura S, Araki M, Yoshioka C, Ota M, Ohta T, Hasegawa H, Tatsumi K, Toyama T, Nakazuru S, Kuzushita N, Tsujie M, Miyamoto A, Nakamori S, Kodama Y, Mita E.

A case of spontaneous splenic rupture during chemotherapy for B-cell chronic lymphoid leukemia.

Clin J of Gastroenterology. 2012;5(1):42-46 (2012年1月)

A-1

三田英治.

C型肝炎 Hepatitis C among HIV-infected patients.

HIV感染症とAIDSの治療 2011;2:37-42.

A-3

荒木学、中水流正一、伊藤麻里、末村茂樹、満田千晶、末吉由佳、大田真紀代、太田高志、長谷川裕子、巽香織、由雄敏之、外山隆、葛下典由、三田英治

S-1による二次治療が奏効した直腸癌合併切除不能胆嚢癌の1例

癌と化学療法 38(11): 1857-1859 2011 (2011年11月)

長谷川裕子、藤谷和正、平尾素宏、中水流正一、三田英治、辻仲利政

進行食道癌に対するNedaplatin/Adriamycin/5-FUによる3剤併用療法の効果と効果発現に影響する因子の検討

癌と化学療法 38(13): 2591-2595 2011 (2011年12月)

松野裕旨、平尾素宏、田中英一、藤谷和正、荒木学、葛下典由、三田英治、安井昌義、池永雅一、宮本敦史、宮崎道彦、三嶋秀行、中森正二、辻仲利政

RFAおよび放射線治療により長期生存している胃癌肝転移の1例

癌と化学療法 38(12): 1957-1959, 2011 (2011年11月)

太田高志、由雄敏之、大田真紀代、長谷川裕子、巽香織、外山隆、中水流正一、葛下典由、児玉良典、三田英治

消化管カポジ肉腫を発症した後天性免疫不全症候群患者8例の臨床的検討

日本消化器内視鏡学会雑誌 53(7): 1786-1796, 2011 (2011年7月)

A-5

三田英治: B型慢性肝炎に対する新規逆転写酵素阻害剤テノホビルの有効性・安全性に関する検討。

厚生労働省科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)「B型慢性肝炎に対する新規逆転写酵素阻害剤テノホビルの有効性・安全性に関する検討」平成23年度総括・分担報告書、P. 1-6、2012年3月

三田英治: HIV感染合併C型慢性肝炎に対するPeg-IFN- $\alpha$ 2b・リバビリン併用療法の治療成績と問題点。厚生労働省科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業)「C型肝炎難治症例の病態解明と抗ウイルス治療に関する研究」平成23年度総括・分担報告書、印刷中、2012年3月

三田英治: 核酸アナログ投与中のB型慢性肝炎患者のHIV抗体検索状況。厚生労働省科学研究費補助金(難病・がん等の疾病分野の医療の実用化研究事業)「病態別の患者の実態把握のための

調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究」平成 22 年度総括・分担報告書、印刷中、2012 年 3 月

三田英治：HIV キャリアにおける B 型急性肝炎。厚生労働省科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）「B 型肝炎ジェノタイプ A 型感染の慢性化など本邦における実態とその予防に関する研究」平成 23 年度総括・分担報告書、印刷中、2011 年 3 月

## B-2

Yuki N, Matsumoto S, Ikura Y, Kato M, Yamaguchi T.

Significance of hepatic expression levels of fatty acid synthase and microsomal triglyceride transfer protein in chronic hepatitis C infection.

2011 AASLD Annual Meeting, San Francisco, USA, 2011 年 11 月

Yoshio T, Nishida T, Kawai N, Yuguchi K, Yamada T, Yabuta T, Komori M, Iijima H, Tsutsui S, Tsujii M, Takehara T.

Gastric ESD under heparin replacement at high risk patients of thromboembolism is technically feasible but in high risk of delayed bleeding: A multicenter study by Osaka university ESD study group

19th United European Gastroenterology Week, Stockholm, Sweden, 2011 年 10 月

Hasegawa H, Fujitani K, Hirao S, Nakazuru S, Mita E, Tsujinaka T.

Effect of S-1 adjuvant chemotherapy on survival following recurrence and efficacy of first-line treatment in recurrent gastric cancer.

9th International Gastric Cancer Congress, Seoul, Korea, 2011 年 4 月

## B-3

三田英治、葛下典由、外山隆。

B 型慢性肝疾患に対する核酸アナログ長期投与の問題点と将来の治療戦略

第 39 回 日本肝臓学会西部会 ワークショップ、岡山、2011 年 12 月

三田英治、外山隆、葛下典由。

ラミブジン耐性 B 型慢性肝疾患に対するアデホビル併用療法の長期成績と問題点

第 15 回 日本肝臓学会大会 シンポジウム、福岡、2011 年 11 月

道田知樹、前田晃作、由雄敏之。

早期胃癌に対する適応拡大 prospective study における ESD の長期成績

第 81 回日本消化器内視鏡学会 シンポジウム、名古屋、2011 年 8 月

由雄敏之、西田勉、河相直樹、湯口清徳、山田拓哉、藪田隆正、小森真人、道田知樹、飯島英樹、辻井正彦、竹原徹郎。

抗血栓療法中早期胃癌患者へのヘパリン置換下 ESD の成績と合併症-大阪大学 ESD study group によ

る多施設研究

第 84 回日本胃癌学会総会 ビデオワークショップ、大阪、2012 年 2 月

道田知樹、前田晃作、由雄敏之。

早期胃癌に対する適応拡大 prospective study における ESD の長期成績-適応外病変の解析を中心に-  
第 84 回日本胃癌学会総会 シンポジウム、大阪、2012 年 2 月

加藤元彦、西田勉、山本克己、北村信次、由雄敏之、中村剛之、小森真人、河相直樹、西原彰浩、  
中西文彦、中原征則、荻山秀治、木下和郎、辻井正彦、竹原徹郎。

ESD 後の適切なフォローアップ方法-多発胃癌に対するサーベイランスの観点から-  
第 8 回日本消化管学会総会学術集会、ESD フォーラム、仙台、2012 年 2 月

B-4

伊藤麻里、由雄敏之、坂根貞嗣、田村猛、田中絵里、荒木学、岩崎竜一郎、末村茂樹、湯口清徳、  
長谷川裕子、榊原祐子、外山隆、中水流正一、石田永、三田英治。

癌性髄膜腫症の発症を契機に診断し、多発小腸・大腸転移を認めた胃癌の一例  
第 84 回日本胃癌学会総会、大阪、2012 年 2 月

山田拓哉、太田高志、由雄敏之、西田勉、上堂文也、石原立、道田知樹、三田英治、辻井正彦、飯  
石浩康、竹原徹郎。

食道癌術後再建胃管癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の検討  
第 84 回日本胃癌学会総会、大阪、2012 年 2 月

坂根貞嗣、外山隆、葛下典由、林亨、太田肇、佐藤丈頭、矢倉道泰、渡部幸夫、小林正和、山本哲  
夫、山下春弘、中牟田誠、八橋弘、石橋大海、三田英治。

ラミブジン耐性 B 型慢性肝炎に対するアデホビル併用療法の長期予後  
第 65 回 国立病院総合医学会、岡山、2011 年 10 月

坂根貞嗣、外山隆、長岡進矢、國府島庸之、西村英夫、竹崎英一、肱岡泰三、太田肇、平嶋昇、島  
田昌明、室豊吉、中牟田誠、八橋弘、石橋大海、三田英治。

核酸アナログ未治療の B 型慢性肝疾患に対するエンテカビルの治療成績  
第 65 回 国立病院総合医学会、岡山、2011 年 10 月

長谷川裕子、藤谷和正、湯口清徳、榊原祐子、由雄敏之、外山隆、中水流正一、葛下典由、平尾素  
宏、三田英治、辻仲利政。

一次治療に不応となった進行食道癌に対するドセタキセル療法の効果の検討  
第 49 回 日本癌治療学会学術集会、名古屋、2011 年 10 月

由雄敏之、西田勉、河相直樹、小森真人、湯口清徳、山田拓哉、北村信次、筒井秀作、辻井正彦、  
竹原徹郎。

へパリン置換下で施行した胃腫瘍に対する ESD の治療成績の検討-阪大 ESD study group による多施設共同研究

第 82 回 日本消化器内視鏡学会総会、福岡、2011 年 10 月

長谷川裕子、藤谷和正、中水流正一、三田英治、辻仲利政。

進行・再発胃癌における一次化療の効果が一次化療終了後の予後と二次化療の効果に及ぼす影響

第 9 回 日本臨床腫瘍学会学術集会、東京、2011 年 7 月

葛下典由、外山隆、中水流正一、由雄敏之、榊原祐子、長谷川裕子、湯口清徳、結城暢一、三田英治。

B 型急性肝炎の現況と治療介入について

第 47 回 日本肝臓学会総会、東京、2011 年 6 月

榊原祐子、由雄敏之、田中絵里、伊藤麻里、吉岡千晶、荒木学、末村茂樹、大田真紀代、湯口清徳、長谷川裕子、外山隆、中水流正一、葛下典由、三田英治。

当院で経験したアメーバ性大腸炎 20 症例の臨床的検討

第 97 回日本消化器病学会、東京、2011 年 4 月

#### B-5

由雄敏之、湯口清徳、三田英治：高齢者における胃 ESD の検討

第 88 回日本消化器内視鏡学会近畿地方会 シンポジウム、大阪、2012 年 3 月

#### B-6

伊藤麻里、由雄敏之、坂根貞嗣、田村猛、田中絵里、荒木学、岩崎竜一郎、末村茂樹、湯口清徳、長谷川裕子、榊原祐子、外山隆、中水流正一、石田永、三田英治。

発症の初期像を確認しえたカポジ肉腫の 1 例

第 87 回日本消化器内視鏡学会近畿地方会、神戸、2011 年 10 月

#### B-8

結城暢一。

医師臨床研修制度運用上の留意点

大阪大学指導医講習会、大阪、2011 年 9 月

結城暢一。

医師臨床研修の現状と今後

臨床研修プログラム責任者養成講習会、神戸、2011 年 11 月

結城暢一。

医学生のための医師臨床研修制度解説

厚生労働省医師臨床研修病院説明会、大阪、2012 年 2 月